

実習テーマ	超短パルスレーザーを用いたX線発生やレーザーアブレーションに関する研究
実習場所	関西光科学研究所 光量子科学研究部 X線レーザー研究グループ (京都・木津)
所属・学年	広島大学大学院 工学研究科 博士課程前期1年
実習期間	2018年8月20日(月)～2018年8月24日(金)

QSTサマースクールに参加しようと思ったのはなぜですか？

私の研究室で進めている研究はナノ秒レーザーを金ターゲットに照射し、軟X線を発生させており、実習と多くの共通点があると思い、QSTサマースクールに参加しようと思いました。

どんな実習をしましたか？

メンテナンス中のレーザーのアライメントに立ちあいました。私の実験室でも使える技術を多く教えていただきました。また、トンネルの欠陥部分を特定する野外のレーザーの実験を見学させていただきました。欠陥部分を探し出すメカニズムやレーザーシステムの構造を詳しく教えていただきました。

一番印象に残ったことは何ですか？

トンネルの欠陥部分を特定する屋外レーザーがコンクリートに打ち込まれるとき、音が非常に大きく、すごい迫力でした。また、レーザーの振動を吸収するために緩衝材がボディにつけられており、それがとても重かったのが印象的でした。

●代表的な1日

9:00	開始
9:00～12:00	実験開始 レーザーの立ち上げの見学、レーザーのアライメントの見学
12:00～13:00	昼休憩、食堂はごはんおかわり自由で沢山食べられてよかった
13:00～18:00	実験再開 レーザーのデイリーアライメント レーザーのマルチパスのアライメント
18:00	修了

実習の様子

